GSジャパン株式会社

取　扱　説　明　書

（電動アシスト自転車）

JE－279E

自転車を安全で快適にご使用いただくために必ずお読みください

- 納車時に販売店から、電動アシスト自転車の使用方法について充分に説明を受けてください。
- 本書、および別書（一般用自転車）取扱説明書も併せてお読みいただき、紛失しないように大切に保管し、ご活用ください。
- 電動アシスト自転車を他の人にお譲りになる場合は、取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 保証書は「販売店名、お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。記入がもれている場合は、販売店にご請求ください。
- お求めになった電動アシスト自転車にあてはまらない内容も含まれていますのでご容赦ください。
- 取扱いがわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

SHIMANO STEPS
Shimano Total Electric Power System
ユーザーマニュアル
E8080シリーズ
SEIS
SHIMANO ELECTRONIC INTELLIGENT SYSTEM

この取扱説明書（電動アシスト自転車）は、シマノユーザーマニュアルを基本にして、一部内容を編集して作成しています。
別書の取扱説明書（一般用自転車）も併せてお読みいただき、正しく安全にお使いください。
（お求めになった電動アシスト自転車にあてはまらない内容も含まれますのでご容赦ください。）

もくじ

重要なお知らせ ――――――――――――――――――――――――――――― 3

安全のために必ずお守りください ――――――――――――――――――――――― 3

安全のために ――――――――――――――――――――――――――――― 3
安全に乗車するために ――――――――――――――――――――――― 3
安全に使用するために ――――――――――――――――――――――― 3
バッテリーの取扱いについて ――――――――――――――――――――― 4
安全に使用するために ――――――――――――――――――――――― 4
お手入れについて ――――――――――――――――――――――――― 5
使用済バッテリーについて ――――――――――――――――――――― 5
ラベルについて ――――――――――――――――――――――――― 5
PCとの接続通信 ――――――――――――――――――――――――― 5
防犯登録・型式認定済マーク ――――――――――――――――――――― 5

自転車の交通ルール（道路交通法） ――――――――――――――――――――― 6

電動アシスト自転車のしくみ ――――――――――――――――――――――― 7

SHIMANO STEPS E8080シリーズとは ――――――――――――――――――― 7
特徴 ――――――――――――――――――――――――――――― 7
乗車方法 ――――――――――――――――――――――――――― 8
アシストモード ――――――――――――――――――――――――― 8
一充電走行距離 ――――――――――――――――――――――――― 8

各部の名前と働き ――――――――――――――――――――――――――― 9

仕様 ――――――――――――――――――――――――――――――― 10

電動アシスト自転車を安全に乗るために ――――――――――――――――――― 10

ご乗車の前に ――――――――――――――――――――――――――――― 11
充電器の取扱いについて ――――――――――――――――――――――― 11
バッテリーの充電 ――――――――――――――――――――――――― 12
バッテリー単体で充電する ――――――――――――――――――― 12
自転車にバッテリーを取付けたまま充電する ――――――――― 13
充電器のLED表示 ――――――――――――――――――――――――― 14
バッテリーのLED表示 ――――――――――――――――――――――― 14
充電中表示 ――――――――――――――――――――――――― 14
残量確認表示 ――――――――――――――――――――――――― 15
バッテリーの上手な使い方 ――――――――――――――――――――― 16
バッテリーの取付け/取外し ――――――――――――――――――――― 16
鍵の使い方 ――――――――――――――――――――――――― 16
バッテリーの取付け方 ――――――――――――――――――――― 17
バッテリーの取外し方 ――――――――――――――――――――― 17
サイクルコンピューターの取付けと取外し ――――――――――――――― 18

操作方法 ――――――――――――――――――――――――――――― 19
電源のON/OFF ――――――――――――――――――――――――― 19
サイクルコンピューターから電源をON/OFFする ――――― 19
バッテリーから電源をON/OFFする ――――――――――― 19
アシストスイッチ/シフトスイッチの操作 ――――――――――――――― 20
ライトの点灯/消灯 ――――――――――――――――――――――― 21
サイクルコンピューターの基本画面 ――――――――――――――――― 22
バッテリー残量表示 ――――――――――――――――――――― 23
バッテリー（リチウムイオン電池）の特性について ――――――――――― 23
バッテリー保証の対象外について ――――――――――――――――――― 23
アシストモードの変更 ――――――――――――――――――――――― 24
走行情報の表示切り替え ――――――――――――――――――――――― 25
走行距離のリセット ――――――――――――――――――――――― 26

Japanese

設定メニュー ――――――――――――――――――――――――――――27
設定メニューの起動 ――――――――――――――――――――――――27～28
Clear(設定リセット) ――――――――――――――――――――――――29
Clock(時刻設定) ――――――――――――――――――――――――30
Backlight(バックライト設定) ――――――――――――――――――――31
Brightness(バックライト輝度設定) ――――――――――――――――――32
Beep(ビープ音設定) ――――――――――――――――――――――――32
Unit(km/mile切り替え) ――――――――――――――――――――――33
Language(言語設定) ――――――――――――――――――――――――33
Font color(フォントカラー設定) ――――――――――――――――――34
Adjust(電動変速ユニットの変速調整) ――――――――――――――――35
RD protection reset(RDプロテクションリセット) ――――――――――35
Exit(終了方法) ――――――――――――――――――――――――35
ドライブユニット設定データのバックアップ機能 ――――――――――――――――36
PCとの接続通信 ――――――――――――――――――――――――――――36
アプリケーションのダウンロード ――――――――――――――――――――36
トラブルシューティング ――――――――――――――――――――――――――37
バッテリーLEDのエラー表示 ――――――――――――――――――――――37
サイクルコンピューターのエラーメッセージ ――――――――――――――38
警告 ――――――――――――――――――――――――――――38
エラー ――――――――――――――――――――――――――38～39
こんなときは ――――――――――――――――――――――――――――40
アシスト機能 ――――――――――――――――――――――――― 40
バッテリー ――――――――――――――――――――――――― 41～42
ライト ――――――――――――――――――――――――――――42
サイクルコンピューター ――――――――――――――――――――42～43
その他 ――――――――――――――――――――――――――――43
仕様 電動アシスト自転車(JE－279E) ――――――――――――――――――――44

ユーザーマニュアルは
以下にてご覧いただけます。
http://si.shimano.com

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取り付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整整士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト（http://si.shimano.com）で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。
液もれ、発熱、発火、破裂などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

安全のために

⚠ 警　告

安全に乗車するために

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばわれない。さもないと転倒事故などの恐れがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。さもないと転倒して重傷を負う恐れがあります。
- 電動アシスト自転車の発進特性に十分慣れるまでは車が通らない平坦な場所（広場や公園など）で十分練習してから乗車してください。さもないと急発進して事故を起こす恐れがあります。
- 夜間走行時にはライトの点灯確認をおこなう。
- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。

⚠ 注　意

安全に使用するために

- 自転車への配線作業、組み付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態でおこなう。さもないと感電します。
- 自転車にバッテリーを取り付けた状態で充電する場合は、自転車を移動させないでください。充電器の電源プラグがコンセントに根元まで差し込まれていない状態になる恐れがあり、火災の原因になります。
- 製品を取り付けるときは、必ず取扱説明書に示している指示を守る。その際には、シマノ純正部品の使用をお奨めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。
- 製品は分解しないでください。分解すると、人体に危害を加える恐れがあります。
- ユーザーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識の無い人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。
- 充電器及びアダプターが損傷していないか特に、コード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。充電器およびアダプターが損傷している場合、修理するまでは絶対に使用しないでください。

安全のために

⚠ 危　険

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形、改造、分解をしない。液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない。またバッテリーを火の中に投入したり、加熱しない。破裂、発火の原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。発熱、破裂、発火の原因となります。
- シマノ指定のバッテリーと充電器を使用して、指定された充電条件を守ってください。さもないと発熱、破裂発火の原因となります。
- バッテリーが液もれして液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、ただちに医師の治療を受ける。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- 充電は湿気の多い場所や、屋外ではおこなわない。感電の恐れがあります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態でおこなわない。感電の恐れがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 所定充電時間を2時間超えてもなお、バッテリーを充電している場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。破裂、発熱、故障の原因となります。
- バッテリーの使用温度範囲は以下です。範囲外での使用はしない。範囲外での使用、保管は発火、傷害、故障の原因となります。
  1. 放電時　：　−10℃〜50℃
  2. 充電時　：　0℃〜40℃
- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しない。バッテリーを漏液させる原因になる恐れがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。皮膚に障害を起こす原因となります。
- バッテリーは乳幼児やペットの手の届かないところに保管する。

使用上の注意　⚠ 注　意

安全に使用するために

- 使用していないコネクターには必ずキャップを取り付けてください。
- 製品の取り付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車はおこなわないでください。水分の侵入に寄り故障、あるいはサビの原因となります。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはシフトスイッチが破損する恐れがあります。
- 製品は丁寧に扱い強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。
- 自転車にバッテリーを取り付けたまま直接充電する場合は、以下のことに気をつけてください。

  ＊充電の際、バッテリーホルダー充電器差し込み口および充電器のプラグに水分が付着していないか確認して下さい。

  ＊充電前にバッテリーホルダーにロックがかかっていることを確認してください。

  ＊充電中はバッテリーホルダーからバッテリーを取り出さないでください。

  ＊充電器を取り付けたまま走行しないでください。

  ＊充電時以外はバッテリーホルダーの充電差し込み口のカバーは閉めてください。
- 車でアシスト自転車を搬送する際は、車両からバッテリーを取り外し、安定した場所に置いてください。
- バッテリーを取り付ける際は、バッテリーと接続する部分(コネクター部)に水が溜まっていないことを確認の上、接続してください。

お手入れについて

- バッテリーホルダーのキーに記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。
- 製品の清掃にシンナー等を使用しないでください。表面を破損するおそれがあります。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水で濡らした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び経年劣化は保証の対象外になります。
- メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。さび落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。
- 故意あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- システムの改造はシステムに異常をきたす恐れがありますので絶対におこなわないでください。

使用済バッテリーについて

電池は資源の有効利用の促進に関する法律「資源有効利用促進法」で使用後の回収及び再資源化が義務付けられています。

- この製品は リチウムイオンバッテリーを使用しています。バッテリーまたは自転車を廃棄する場合はバッテリーを取外して販売店またはリサイクル協力店へ持ち込んでください。
  詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
  ホームページ　：　https://www.jbrc.com

ラベルについて

- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。

- 貼付された型式認定済マークははがさないでください。

PCとの接続通信

PC接続機器を使用してPCを自転車（システムまたはコンポーネント）に接続すると、個別のコンポーネントやシステム全体のカスタマイズ、ファームウェアのアップデートなどの作業をE－TUBE　PROJECTでおこなうことができます。

- PC接続機器：SM－PCE1/SM－PCE02
- E－TUBE　PROJECT：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。詳しくは「PCとの接続通信」の項を参照してください。

防犯登録・型式認定済マーク

- 平成6年6月20日より、自転車基本法（省略）が改正され、防犯登録が自転車利用者の義務となりました。
  防犯登録をご希望の方は、お近くの「防犯登録所」（自転車販売店）にて手続きができます。

防犯登録をする際に必要なもの

- お求め頂いた自転車本体
- 品質保証書（取扱説明書付属の品質保証書に必要事項を記入してください）
- お客様の身分証明になるもの（運転免許証、健康保険証、学生証など）
- 防犯登録をする際は別途手数料が必要となります（お客様の負担になります）
- その他、防犯登録についてご不明な点がございましたら最寄りの自転車販売店または警察署におたずねください

型式認定済マークについて

- 電動アシスト自転車として道路交通法等に規定されている基準に適合した自転車で、国家公安委員会から認定を受けた自転車に貼付できるマークです。
- 型式認定済マークは自転車に貼付されます。

- この型式認定済マークには交通傷害保険は付帯されていません。

自転車の交通ルール（道路交通法）

14項目の自転車運転の違反行為

自転車の交通ルールを守りましょう

1・信号無視――――――――――――――――信号を無視して、交差点などを通過してはならない。
2・通行禁止違反――――――――――――――道路標識などで通行を禁止している区間は通行しない。
3・歩行者用道路における車両の義務違反――通行可の歩道でも歩行者に注意を払い、徐行して走行する。
4・通行区分違反――――――――――――――歩車道の区別のある道路では車道の左側端寄りを通行する。
5・路側帯通行時の歩行者通行妨害――――――路側帯通行時は歩行者の妨げにならない速度で走行する。
6・遮断踏切立ち入り――――――――――――遮断機、警報機が作動しているときは踏切内に進入しない。
7・交差点安全進行義務違反等――――――――交差点で優先車両の通行を妨げず横断歩行者に注意し走行。
8・交差点優先車妨害等――――――――――――交差点で、車両の通行を妨害しないよう右折をすること。
9・環状交差点安全進行義務違反等――――――環状交差点内の車両の進行を妨害しないよう徐行走行する。
10・指定場所一時不停止等――――――――――一時停止の指定がある場所では一旦停止をすること。
11・歩道通行時の通行方法違反――――――――通行可歩道でも歩行者の通行妨害しない車道寄りを徐行する。
12・制御装置（ブレーキ）不良自転車運転　――ブレーキがない、効かない又壊れた自転車の運転はしない。
13・酒酔い運転――――――――――――――――酒気を帯びた状態で自転車を運転しない。
14・安全運転義務違反――――――――――――傘をさしたり、携帯電話、音楽プレーヤーを使用しながらの片手運転はしないこと。

罰則・罰金について

違反行為を3年間のうち2回以上摘発された自転車利用者は、公安委員会の命令を受けてから3か月以内の指定された期間に「安全講習」を受講する義務があります。
公安委員会の受講命令を無視して受講しなかった場合は、5万円以下の罰金が科せられます。

	罰則	罰金
①3年間で1回以下の摘発	取締りの対象のみ	なし
②3年間で2回以上の摘発	安全講習への参加命令	安全講習への参加手数料
③ ②の罰則未対応の場合	裁判所への呼び出し	5万円以下

自転車の［安全利用五則］を守りましょう

● **1・自転車の通行は車道が原則。歩道は例外です。**
自転車は軽車両です。歩道と車道の区別のあるところでは車道通行が原則です。

● **2・車道は左側通行です。**
自転車は車道の左側に寄って通行しなければなりません。

● **3・歩道は歩行者優先です。車道寄りを徐行。**
歩道ではすぐに停車できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止する。

● **4・交通安全ルールを守る。**
①飲酒運転は禁止。（自転車も飲酒運転は禁止）
②二人乗りは禁止。（6歳未満の子供を1人乗せる場合を除き禁止）
③並進は禁止。（「並進可」標識のある場所以外での並進禁止）
④夜間はライトを点灯。（夜間走行は必ず前照灯の点灯を）
⑤信号を守る。（信号を必ず守る）
⑥交差点での一時停止と安全確認。（安全確認を忘れずに、一時停止は守る）

● **5・子供にはヘルメットを着用**
児童、幼児の保護責任者は児童、幼児にヘルメットを着用するようにしましょう。

電動アシスト自転車のしくみ

● **ペダル踏力とアシストの比率**

＊電動アシスト自転車はアシスト力の法令基準の範囲内でペダルを踏む力や走行速度、変速位置などに応じてアシストをします。

● **アシスト力の法令基準**

＊時速10kmまでは、こぐ力とアシスト力の比率が「最大1 ： 2」となります。

＊時速10kmを超えると、しだいにアシスト力を弱めていきます。

＊時速24kmでアシスト力はゼロになります。

法令基準はあくまでも最大値を定めるものです。商品によってはこの基準の範囲内でアシストレベルが異なります。

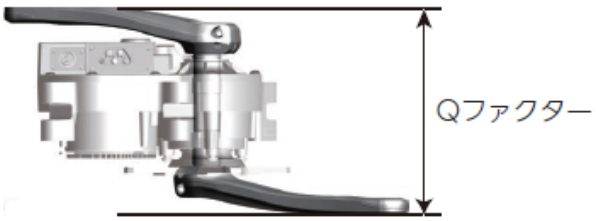
● **次のようなときはアシストしません**

＊時速が24km以上のとき。
＊ペダルを踏む力が弱いとき、またはペダルの回転を止めているとき。
＊バッテリーの残量がなくなったとき。
＊電源が切れているとき。
＊走行することができなくなる故障や異常が発生したとき。

SHIMANO STEPS E8080シリーズとは

■ 特徴

- 街乗りからトレッキングまでカバーするアシストコンポーネント。
- 静かでパワフルなドライブユニット。
- 滑らかで自然なパワーアシストとライディング体験。
- コンパクトなドライブユニットで、チェーンステーが短く乗りやすいフレームへの搭載が可能。
- ペダリングを止めるとアシストも止まり、ペダルの踏み込みで即再スタートできるユーザーの操作と調和したパワーアシストシステム。
- 優れたコントロール性能で街乗りからトレッキングまで快適なライディング。
- アシストOFFの場合でも効率的なペダリング。
- 人間工学に基づいて設計された簡単操作のアシストスイッチ。
- 通常のマウンテンバイクに近いQファクターで、足への負担を軽減。
- 大容量バッテリーで長時間の乗車が可能。



■ 乗車方法

1. 電源をONにします。
   - 電源をONにするときは、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。
   - 充電中は電源をONにできません。
2. お好みのアシストモードを選びます。
3. ペダルをこぐとアシストが開始されます。
4. 走行状況に合わせてアシストモードを変更してください。
5. 駐輪時は電源OFFにします。
   - 電源をOFFにするときは、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。

■ アシストモード

（本書P24「アシストモードの変更」も併せてご参照ください。）

それぞれの用途に合わせて、SHIMANO STEPSのアシストモードをお選びいただけます。

HIGH（アシスト強）	NORMAL（アシスト中）	ECO（アシスト弱）
急な上り坂など、パワフルなアシストが必要なときに使用します。	緩やかな上り坂や平地でも、中程度のアシストで、心地よい走りを楽しめます。	平地で長距離ライディングを楽しみたいときに使用します。強く踏んでいない場面のアシストを弱め、エネルギー消費を抑えます。
バッテリー残量が少なくなってきた時には、アシスト力を落として走行可能距離を伸ばすようになっています。		
OFF（アシストOFF）		
このモードは電源を入れているがアシストをしないモードです。アシストに関しての電力消費がないので、バッテリー残量が少なくなった時に、バッテリーの消費を抑えるのに有効です。		

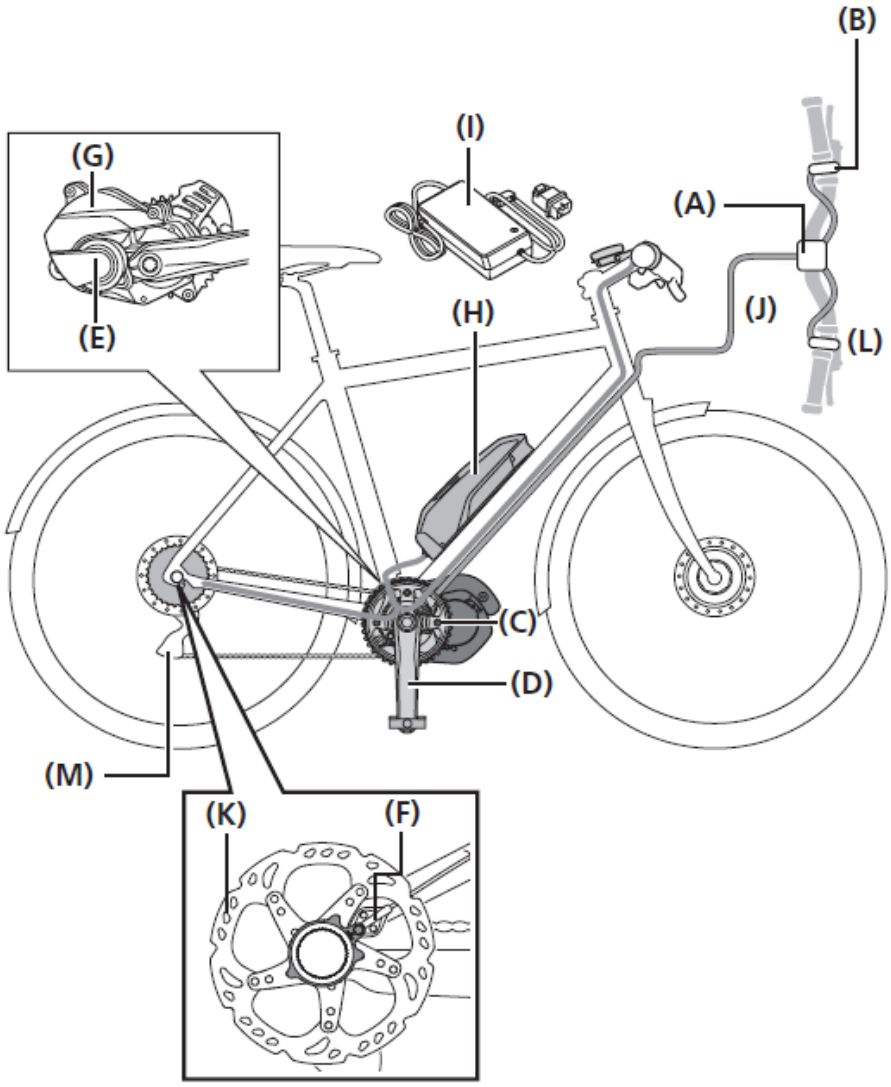
■ 一充電走行距離

- 満充電一回の走行距離は、積載量の重量（乗員を含む）、路面状況、気温、バッテリーの消耗状況などの条件の変化によって大きく差がでます。

アシストモード	一充電の走行可能距離
ECOモード(弱)	約112 km
NORMAL（中）	約104 km
HIGH（強）	約 76 km

※走行距離は一般社団法人自転車協会が制定する走行条件に基づき算出しております。
走行可能距離は実際の使用用途により変化します。

各部の名前と働き



（A） サイクルコンピューター：
SC－E6010

（B） アシストスイッチ：
SW－E6010－L
SW－E6000

（C） フロントチェーンリング：
SM－CRE80

（D） クランクアーム：
FC－E8000
FC－E8050

（E） ドライブユニット：
DU－E8080

（F） スピードセンサー：
SM－DUE11

（G） ドライブユニットカバー：
SM－DUE80－A
SM－DUE80－B

（H） バッテリー（外付けタイプ）/
バッテリーホルダー(外付け
タイプ）：
BT－E8010/BT－E8014
（日本仕様）
BM－E8010
BT－E6010（日本仕様）
BM－E6010

（I） 充電器：
EC－E6000/EC－E6002
（日本仕様）

（J） E－TUBE（EW－SD50）

（K） 専用ディスクブレーキローター：
RT－EM800
RT－EM900

電動変速の場合

（L） シフトスイッチ：
SW－E6010－R
SW－E6000

（M） リヤディレィラー（D12）：
RD－M8050

仕様

使用環境温度：放電時	-10 – 50℃	**バッテリータイプ**	リチウムイオンバッテリー
使用環境温度：充電時	0 – 40℃	**公称容量**	バッテリーのユーザーマニュアルを参照してください。また最新のマニュアル情報についてはウェブサイト（**http://si.shimano.com**）をご覧ください。
保管温度	-20 – 70℃	**定格電圧**	36 V DC
保管温度（バッテリー）	-20 – 60℃	**ドライブユニット方式**	ミッドシップ
充電電圧	100 V AC	**モータータイプ**	Brush-less DC
充電時間	バッテリーのユーザーマニュアルを参照してください。また最新のマニュアル情報についてはウェブサイト（**http://si.shimano.com**）をご覧ください。	**ドライブユニット定格出力**	250 W

● アシストが提供する最大速度はメーカー側で設定されていますが、自転車を使用する条件によって異なります。

電動アシスト自転車を安全に乗るために

電動アシスト自転車に慣れるまでは、車が通らない平坦な場所（広場や公園など）で十分練習してください。
転倒や衝突事故によるけがの恐れがあります。

禁止

けんけん乗り（けり乗り）はしないこと。転倒や接触事故によるけがの恐れがあります。
必ずサドルにまたがって、発進してください。
けんけん乗り（けり乗り）とは、片足でペダルをこぎながら助走し、反動をつけてサドルにまたがる乗り方です。

禁止

発進時はペダルを強く踏み込まない。
思わぬ急発進により、転倒や衝突事故によるけがの恐れがあります。
強く踏み込まなくても楽に発進することができます。

禁止

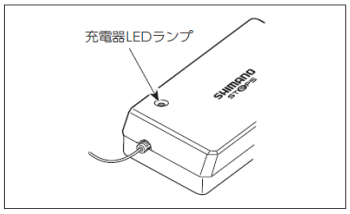
停車中は前後ブレーキを掛けた状態にし、ペダルに足を乗せないこと。
不用意なアシスト力が働き、転倒や接触事故によるけがの恐れがあります。

⚠ 警告

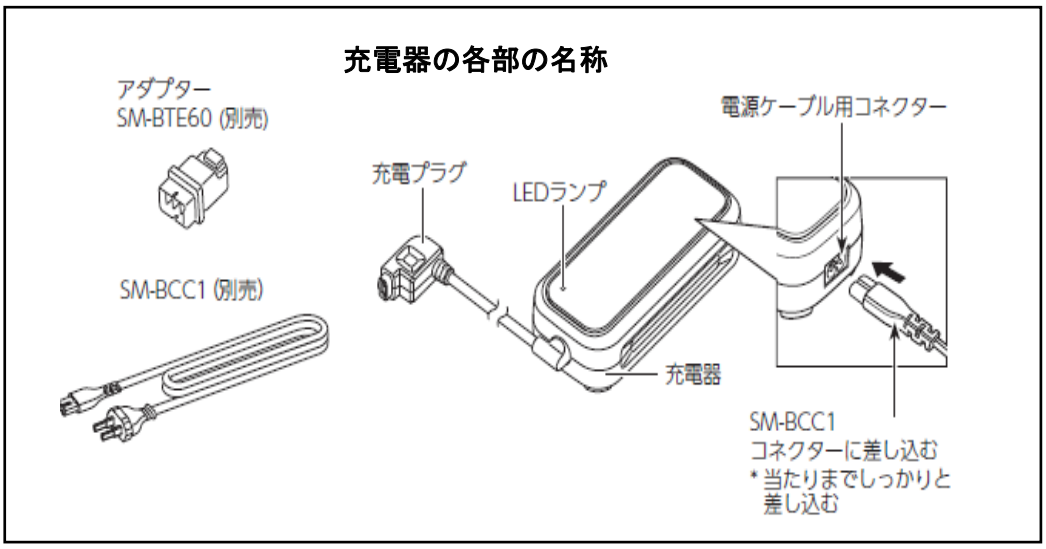
電源を入れてあとに駆動のチェーンに触ったり、上から強く押したりしないでください。
システムに異常が発生する恐れがあり故障の原因になります。

ご乗車の前に

シマノ指定のバッテリーをご使用ください。
出荷状況では、バッテリーはすぐに使用でくる状態ではありません。
専用充電器で充電することでバッテリーが使用可能になります。
必ず充電してから使用してください。バッテリー上のLEDが点灯すれば使用可能です



充電器の取扱いについて



⚠ 危　険

- 充電器を分解、改造しない。
  感電、けがの原因になります。
- 充電は当社指定のバッテリーと充電器の組合わせでおこない、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警　告

- 所定充電時間を2時間超えてもなお、バッテリーを充電して入る場合は、直ちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注　意

- 充電器およびアダプターが損傷していないか、特にコード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。充電器およびアダプターが損傷している場合、販売店又は代理店の修理が完了するまでは絶対に使用しないでください。
  この製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用してください。子供を含めて身体敵、感覚的、精神的能力が減少している人、又は経験や知識の無い人には使用させないでください。この製品のそばで子供を遊ばせないでください。

充電時間は以下を参照してください

所定充電時間　（充電器：EC－E6002を使用）

バッテリー	バッテリー残量0%からの充電時間
BT－E8014	約6．5時間

※本製品のバッテリーはBT－E8014を使用しています。

■ バッテリーの充電

⚠ 危　険

● 充電は当社指定のバッテリーと充電器の組み合わせで行い、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱、破裂、発火の原因となります。

注　意

● コンセントから充電器の電源プラグおよびバッテリーから充電プラグを抜く際は、コード部分を持って抜かないでください。

● 自転車にバッテリーを取付けた状態で充電する場合は、充電器のコードに足を引っ掛けないように気を付けてください。けがおよび自転車の転倒による製品の破損に繋がるおそれがあります。

● 新車の状態で長期保管する場合は、使用を開始する直前に充電してください。一度充電すると、バッテリーの劣化が始まります。

● E－TUBE　PROJECTに接続し、[接続確認]をクリックして、使用中のバッテリーがシマノ指定のバッテリーかどうかを確認してください。

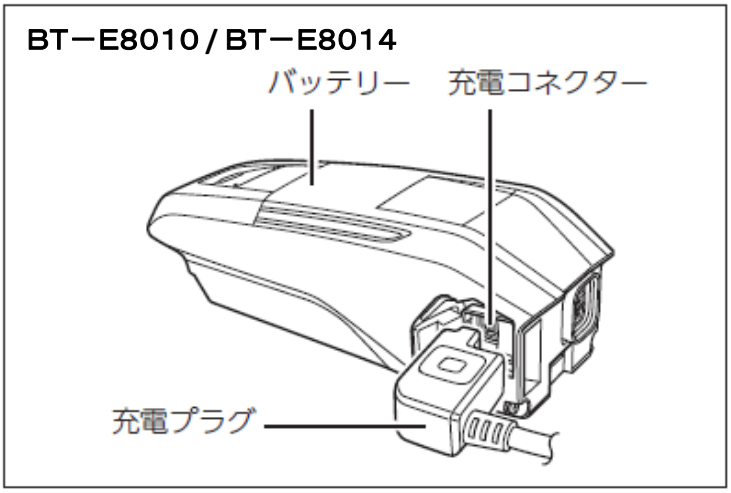
● 充電中は長時間、皮膚の同じところで触れないこと。
充電中は、40～60℃になる場合があり、低温やけどの恐れがあります。

バッテリー単体で充電する

BT－E8010 / BT－E8014の場合

1. 充電器の電源プラグをコンセントに差込みます。
2. 充電プラグをバッテリーの充電コネクターに差込みます。

   ● 屋内の平坦な場所で充電してください。



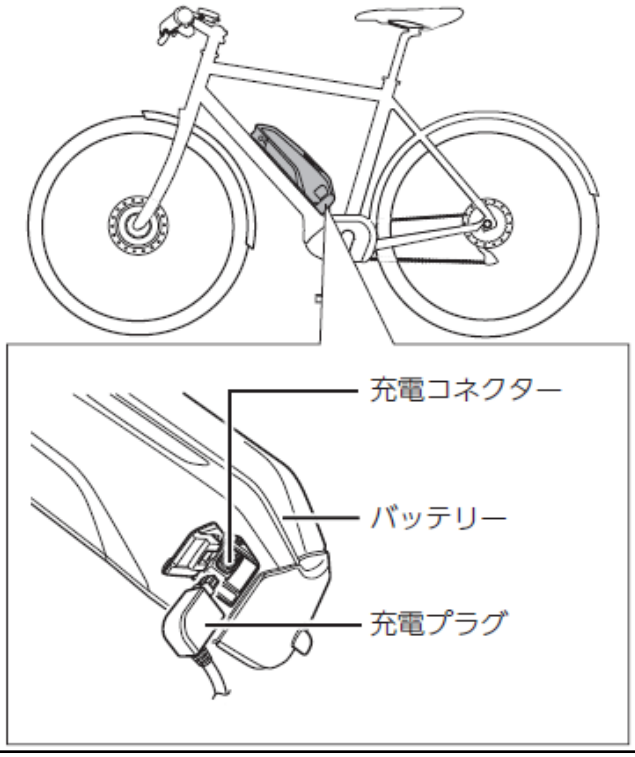
自転車にバッテリーを取付けたまま充電する

充電器 ： EC－E6002
バッテリー ： BT－E8010 / BT－E8014

1. 充電器の電源プラグをコンセントに差込みます。

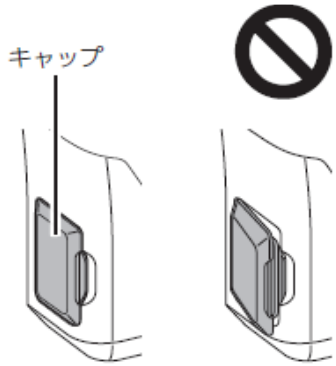
2. バッテリーホルダーの充電コネクターに充電プラグを差込みます。
   ● 充電中に自転車が転倒しないように固定して下さい。
   ● 充電を開始する前に、充電器を床などの安定した場所に置いてください。

BT－E8010 / BT－E8014



注　意

充電後、充電コネクターのキャップは確実に閉めてください。



注　意

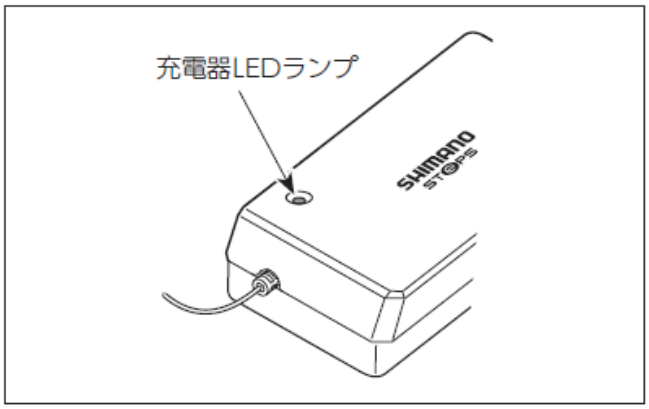
● 雨のかかる場所や直射日光の当たる場所でのバッテリーの充電はしないでください。

● 充電中はカバーをしたり、上に物を置いたりしない。内部が発熱、火災の恐れがあります。

■ 充電器のLED表示

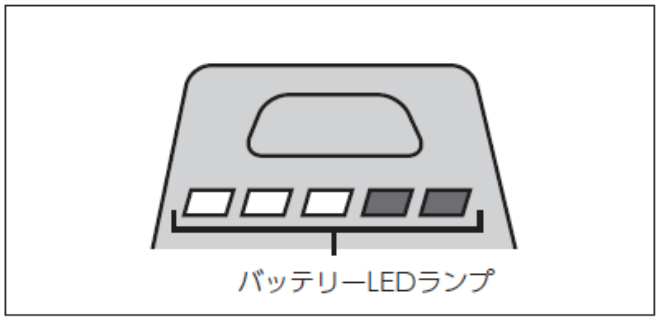
充電が開始されると、充電器のLEDランプが点灯します。

○ 点灯	充電中（充電完了後：1時間以内）
点滅	充電エラー
● 消灯	バッテリー未接続



■ バッテリーのLED表示

バッテリーLEDランプで、現在の充電状況を確認できます。



充電中表示

バッテリー残量表示*1	バッテリーレベル
	0%～20%
	21%～40%
	41%～60%
	61%～80%
	81%～99%
	100%

*1 ■：無灯 □：点灯 ▣：点滅

残量確認表示

バッテリーの電源ボタンを押すと、現在のバッテリー残量を確認することができます。

バッテリー残量表示*1	バッテリーレベル
	100%～81%
	80%～61%
	60%～41%
	40%～21%
	20%～1%
	0% （バッテリーが自転車に取付けられていない状態）
	0%、 電源OFF / シャットダウン （バッテリーが自転車に取付けられている状態）

*1 ：無灯 ：点灯 ：点滅

注　意

バッテリー残量が少なくなると、システム機能は以下の順番で停止します。

1. パワーアシスト(アシストモードが自動的に[ECO]に切り替わり、その後アシストが停止します。バッテリー駆動ライトが接続されている場合には、[ECO]への切替えタイミングが早くなります。)
2. 変速
3. ライト

■ バッテリーの上手な使い方

充電はバッテリー残量によらず自由に行えますが、以下の場合、満充電まで一気に充電してください。その際、必ず専用充電器を使用してください。

● 購入した状態ではバッテリーは満充電されていません。走行する前に必ず満充電まで充電してください。

バッテリーを完全に放電しきった際は、速やかに充電してください。そのまま放置した場合、バッテリーの劣化が進行します。

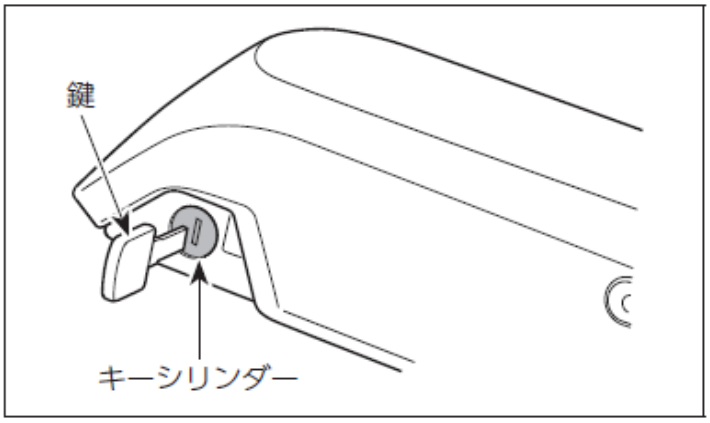
● 長期間自転車に乗らない場合は、約70%のバッテリー容量を残して保管してください。また、6ケ月ごとに充電して、バッテリーが完全に空にならないようにしてください。

■ バッテリーの取付け／取外し

鍵の使い方

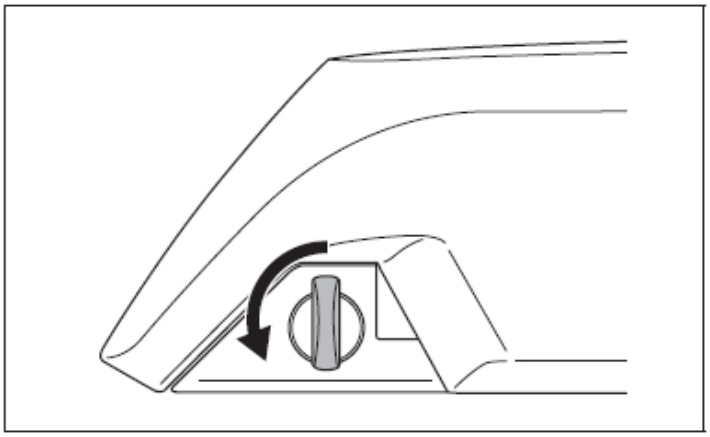
バッテリーは、バッテリーホルダーに鍵で固定します。
数種類の鍵があるため、下記の説明と異なる場合があります。

1. バッテリーホルダーのキーシーリングに鍵を差し込みます。



● バッテリーを差し込む際に鍵の位置は影響しません。どの位置でも差し込み可能です。
● 差し込み位置以外では、鍵を抜くことができません。

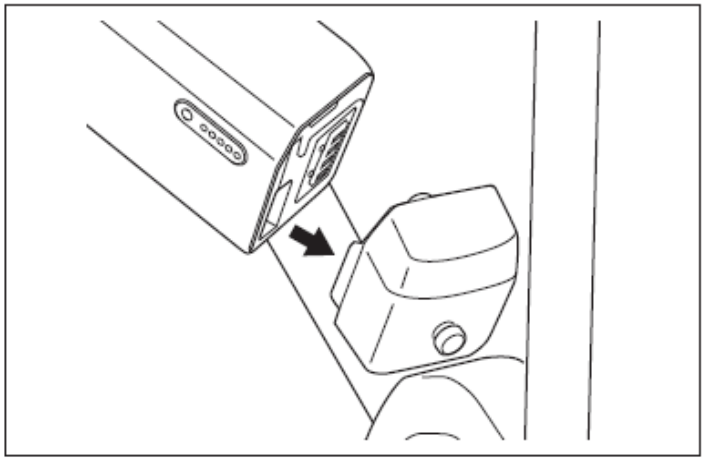
2. あたりを感じるまで鍵を左に回してバッテリーのロックを外します。



注　意
脱落防止のために、鍵を差したままで走行しないでください。

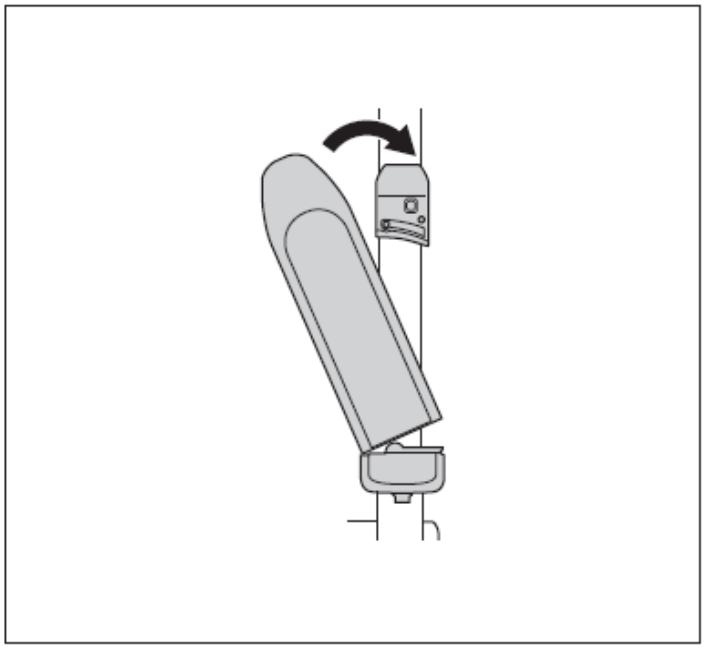
バッテリーの取付け方

1. バッテリー底部にある凹部とホルダーの凸部を合わせて差し込みます。



2. 差し込み部分を支点にしてバッテリーを右側にスライドさせます。カチッと音がするまで押し込んでください。

3. 鍵をロック位置に戻し、引き抜いて安全な場所に保管してください。



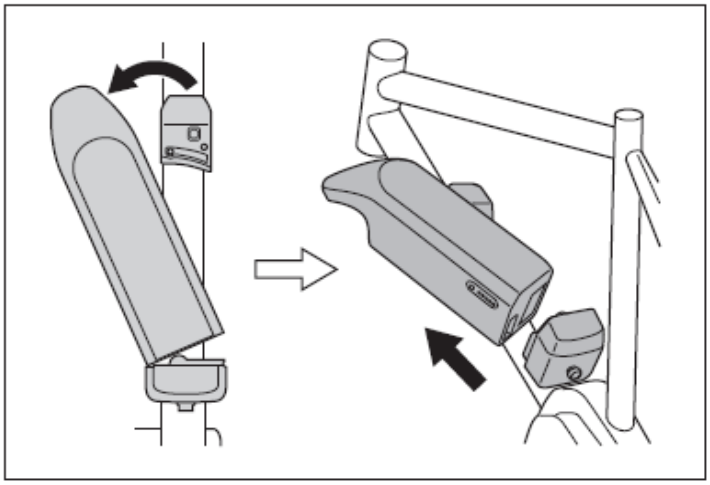
注　意

- バッテリーがロックされていることを確認してから走行してください。確実にロックされていないと走行中、バッテリーが外れて落下するおそれがあります。
- ご乗車の前に充電コネクターのキャップが閉じていることを確認してください。

バッテリーの取外し方

電源をOFFにしてから、鍵を開錠位置まで回転させます。

バッテリーの上部を持ち、左にスライドさせて取外します。

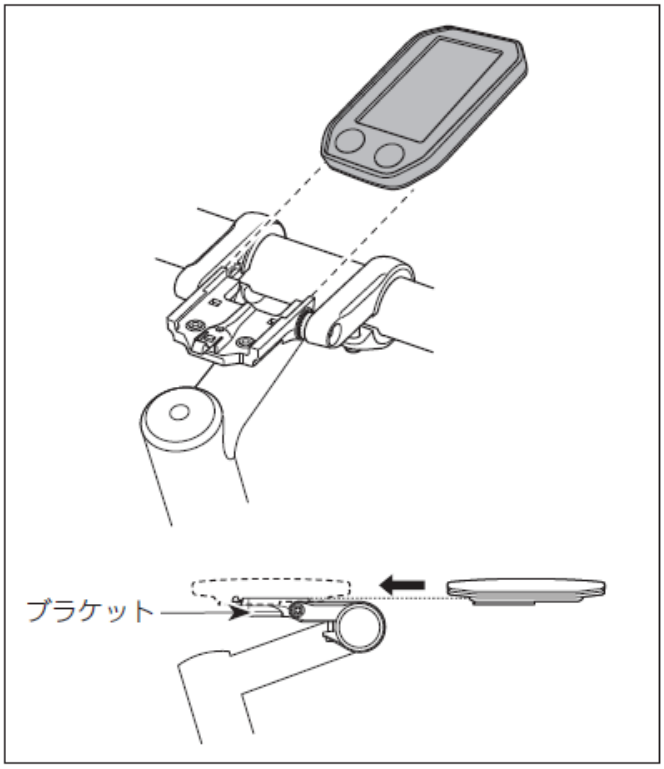


注　意

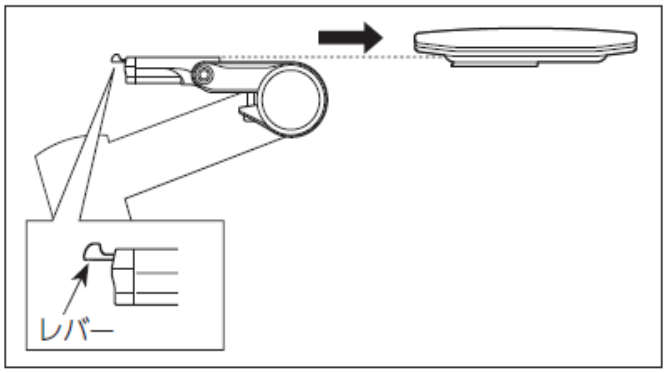
- バッテリーをしっかり持ち、取外しや持ち運びの際に落下させないように注意してください。
- バッテリー本体は両手で取り扱ってください。落下して破損、けがをする恐れがあります。

■ サイクルコンピューターの取付けと取外し

図のようにサイクルコンピューターをブラケットにスライドさせて取付けます。



取外すときは、ブラケットのレバーを強く押しながらサイクルコンピューターをスライドさせて取外してください。



サイクルコンピューターがブラケットに正しく挿入されていない場合は、アシストは正常に作動しません。

操作方法

■ 電源のON/OFF

サイクルコンピューターから電源をON/OFFする

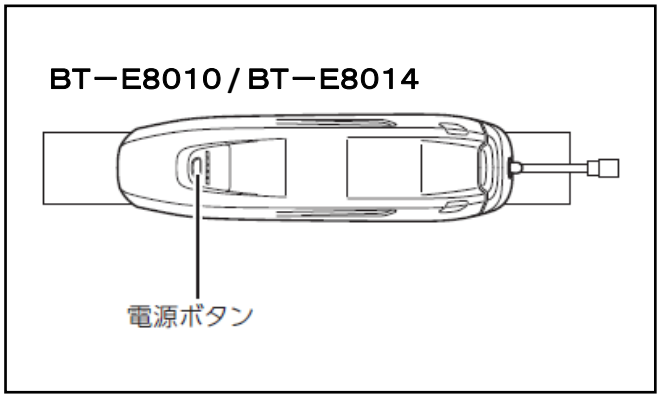
● サイクルコンピューターの電源ボタンを約2秒長押しします。

注　意

サイクルコンピューターの内臓バッテリーが十分に充電されていないと、電源の操作ができません。
サイクルコンピューターの内臓バッテリーは、サイクルコンピューターの電源がONの状態でのみ充電されます。

バッテリーから電源をON/OFFする

バッテリーの電源ボタンを押します。
LEDライトが点灯し、バッテリー残量を示します。



注　意

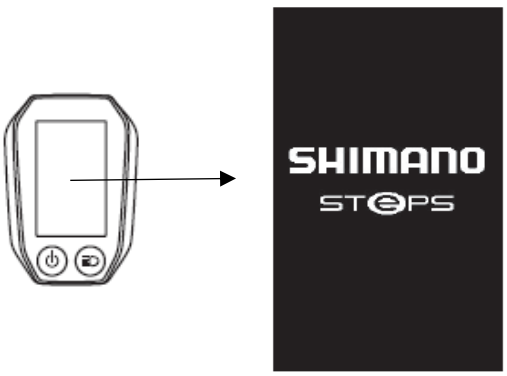
● 電源を入れる際には、バッテリーがホルダーにしっかりと固定されていることを確認してください。
● 充電中は電源をONにできません。
● 電源をONにするときは、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。

● 電源を強制的にOFFにするには、電源ボタンを5秒間長押しします。
● 自転車を10分間動かさないと、電源は自動的にOFFになります。（オートパワーOFF機能）

オートパワーOFF機能

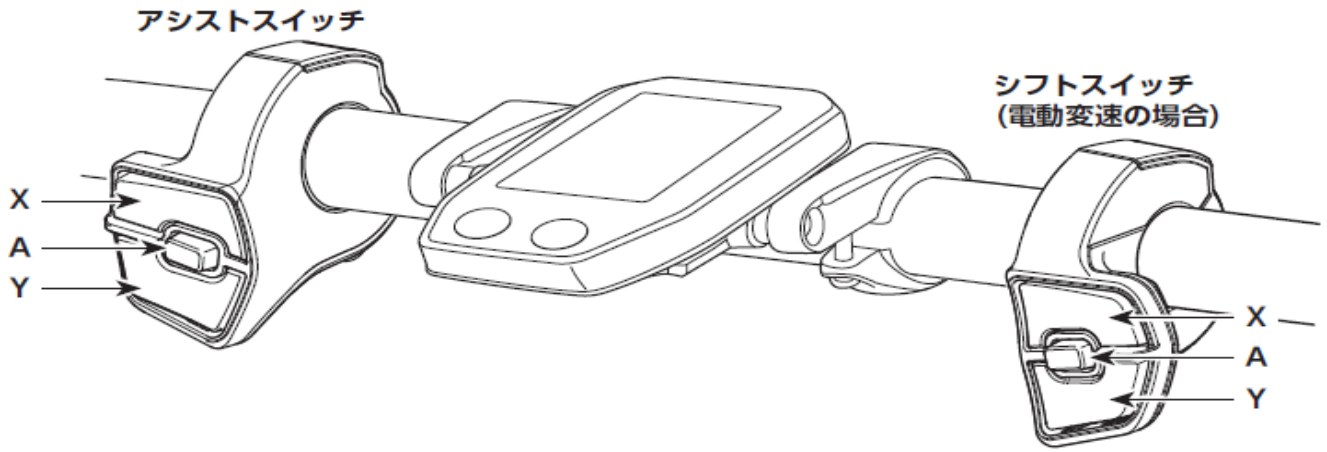
SHIMANO STEPSロゴ画面

電源のON/OFF時には、右図のようなロゴ画面が表示されます。



■ アシストスイッチ/シフトスイッチの操作

スイッチユニットがSW－E6010の場合



アシストスイッチ		シフトスイッチ (電動変速の場合)	
X	乗車時： アシスト力を強くします。 設定時： カーソルの移動や設定の変更に使用します。	X	乗車時： リヤの変速操作を行い、ペダリングを重くします。
Y	乗車時： アシスト力を弱くします。 設定時： カーソルの移動や設定の変更に使用します。	Y	乗車時： リヤの変速操作を行い、ペダリングを軽くします。
A	乗車時： サイクルコンピューターの走行情報の表示を切り替えます。 設定時： サイクルコンピューターの画面を切り替えたり、変更した設定を確定させます。	A	乗車時： サイクルコンピューターの走行情報の表示を切り替えます。

注　意
変速操作は、必ずクランクを回しながらおこなってください。

- 乗車時のスイッチの機能割り当てを、ここで説明している内容から変更することができます。詳しくは購入された販売店にご相談ください。
- 本書では、以後の操作説明をSW－E6010を例にして記載しています。SW－E6000の場合、スイッチの配置が異なりますのでご注意ください。

■ ライトの点灯/消灯（この製品にはライトは装備されていません）

バッテリー駆動ライトを接続している場合、サイクルコンピューターのライトボタンを押すと、ライトが点灯します。

● 仕様により、サイクルコンピューターのライトボタンにはアイコンが印字されていない場合があります。

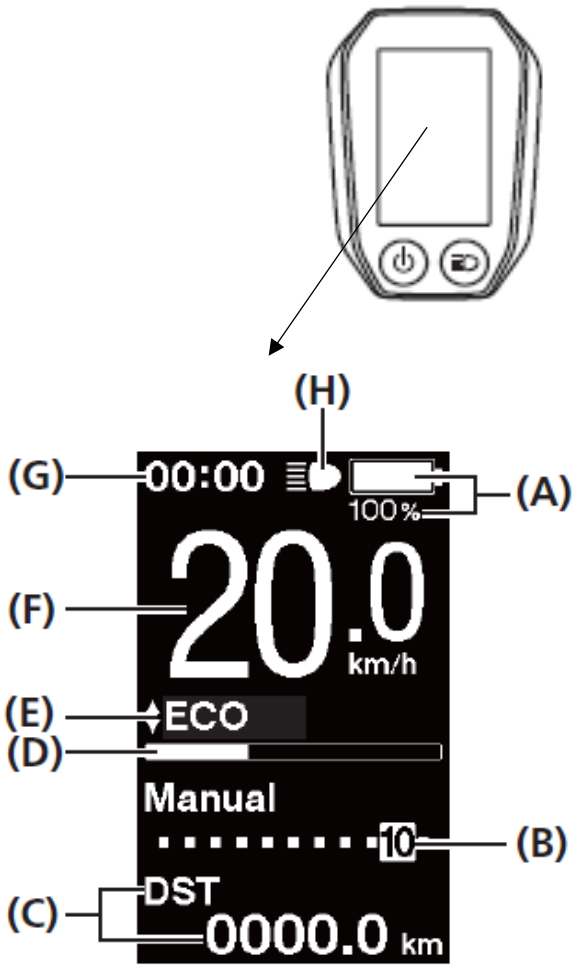
ライト点灯時　　ライト消灯時

● バッテリー駆動ライトを接続していない場合、サイクルコンピューターの設定メニューで[Backlight]を[MANUAL]に設定すると、サイクルコンピューターのライトボタンでバックライトの点灯/消灯のみを操作できます。この場合、バックライトを点灯にしても画面上にライトの点灯を示すアイコンは表示されません。

● ライトの消灯は、バッテリー本体電源のOFFと連動します。本体の電源がOFFのときにライトは点灯しません。

■ サイクルコンピューターの基本画面

アシスト自転車の状態や、走行情報を表示します。
ギア段数は電動変速時にのみ表示されます。



(A) バッテリー残量表示

現在のバッテリー残量を目盛りとパーセンテージで表示します。

（B）ギヤ段数の表示

電動変速の場合は、現在のギア段数を表示します。

(C) 走行情報の表示

最高速度や累計走行距離といった走行情報を表示します。

(D) アシストゲージ

アシスト力を表示します。

(E) アシストモード表示

現在のアシストモードを表示します。

(F) 現在速度

現在の速度を表示します。

(G) 現在時刻

現在の時刻を表示します。

(H) ライトの点灯を示すアイコン

バッテリー駆動ライトが点灯していることをお知らせします。

バッテリー残量表示

サイクルコンピューター上でバッテリー残量を確認することができます。

表 示	バッテリーレベル
	100%
	0%

バッテリー(リチウムイオン電池)の特性について

- リチウムイオン電池は高性能充電式電池の一種で充電と放電を繰り返し使用できる優れた電池です。
- バッテリーの寿命は気温、使用状態、充電の仕方回数などによって異なります。
- 充電回数の増加に伴い一回の充電容量が少なくなります。
- 長時間使用せずに保管すると自己放電によりバッテリー残量が次第に少なくなります。
- バッテリー保護のため、満充電後の再充電はしないでください。
- 冬期(約5℃以下)や寒い環境では充電一回当たりの走行が短くなります。これはバッテリーの特性です。
  気温が高くなると走行距離はもとに戻ります。
- 夏期の熱い環境では、
  ＊バッテリーの内部温度が高いときに充電しようとすると、充電ができないときがあります。
  ＊バッテリーの温度が高いと、システム保護のためアシスト力が低下することがあります。
  ＊バッテリーの周辺温度が高いと、充電に時間がかかることがあります。適正な温度(0℃～45℃以下)
  になれば回復します。
- 所定充電時間を2時間超えてもなお充電している場合は、直ちにコンセントを抜いて充電を中止してください。

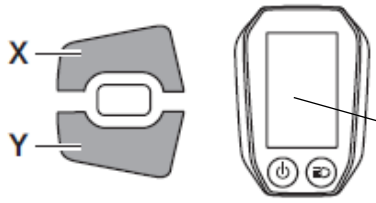
バッテリー保証の対象外について

- **保証対象外となる症状などの事項(保証期間内でも下記の場合は原則として保証対象外になります)**

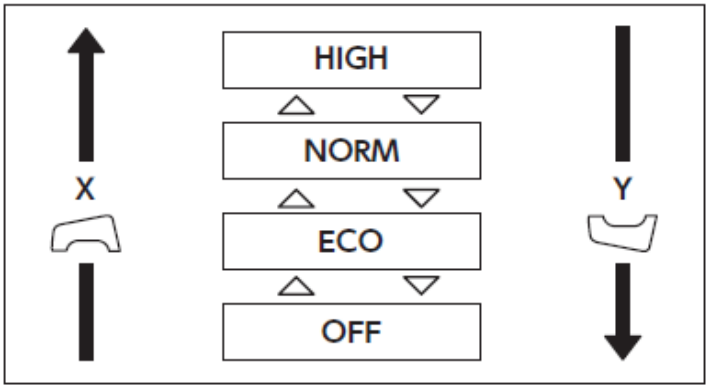
1・バッテリーの劣化。(初期容量の50%以下になったもの)
2・バッテリーの特性による使用環境、天候、積載条件などに起因する一満充電当たりの走行距離低下。
(一時的なものを含む)
＊外気温が低い冬期に、一満充電での走行可能距離が夏期使用時より少なくなる現象。
＊上がり坂が多い、発進頻度が高い、積載量を含む総重量が重い事による一満充電での走行距離が
短くなる現象。
3・バッテリーの温度特性またはシステム保護のための一時的なアシスト力低下。
＊外気温が10℃以下の冬期使用時に、一時的にアシスト力が低下する現象。
＊外気温が高い夏期に、長い坂道を登ったり、重い荷物を積載して走行した場合、システム保護の
ためにアシスト力が低下する現象。
4・バッテリーの温度特性またはシステム保護のための充電の一時的な中断、待機の現象。
＊気温0℃以下の低温、夏の直射日光が当たる場所や走行直後の高温時に充電した場合、充電の
中断または待機になる現象。
5・誤った使用及び不当な修理やバッテリーの分解、バッテリー内部部品の交換、改造、加工をした
バッテリーをこの自転車に使用されたことが原因で発生する故障及び損傷。
6・業務用(荷物運搬、新聞配達等)営業用(レンタサイクル等)不特定多数で使用された場合の故障
及び損傷。
7・落下や水の浸入などの取扱いの誤りによる故障及び損傷。
8・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガスなど、異常電圧、指定外の使用電源
(電圧、周波数)などによる故障、および損傷。
9・保証書のご提示が無い場合、またはお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、
あるいは字句を書き換えられた場合。

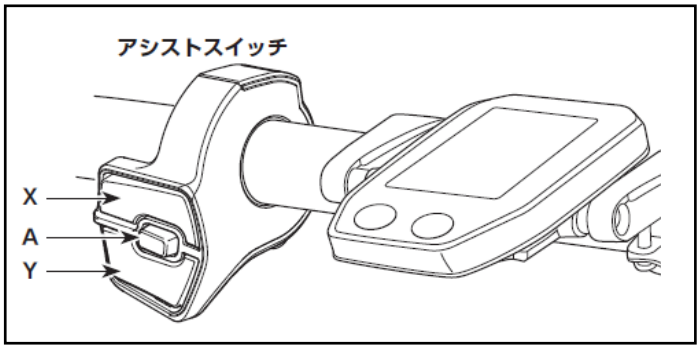
■ アシストモードの変更

アシストスイッチのXまたはYを押してアシストモードを切り替えます
（アシストスイッチは本書のP20の図を参照ください）



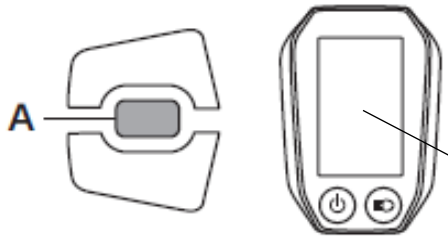
アシストモード表示	アシストモード
HIGH	アシスト強
NORM	アシスト中
ECO	アシスト弱
OFF	アシストOFF



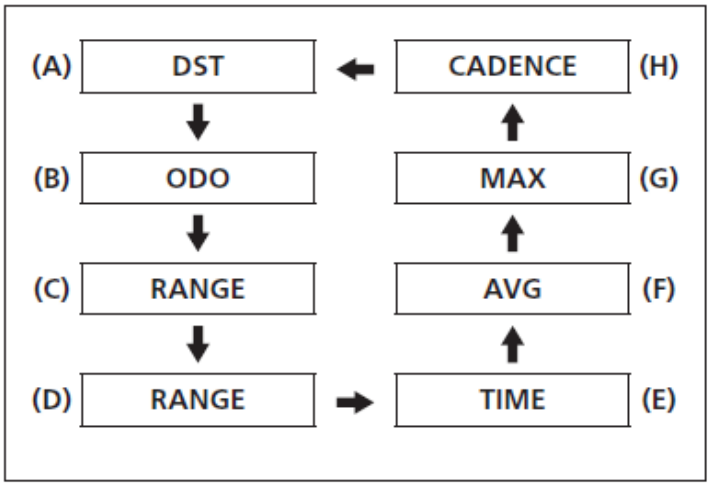


■ 走行情報の表示切り替え

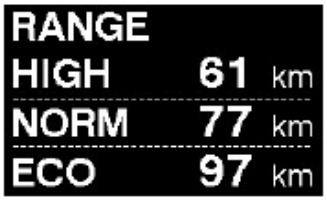
アシストスイッチのAを押すたびに、サイクルコンピューターに表示されている走行情報を切り替えることができます。



(A) 走行距離 *1
(B) 積算距離
(C) 走行可能距離 *2
(D) アシストモード別走行可能距離 *2 *3 *4
(E) 走行時間 *4
(F) 平均速度 *4
(G) 最高速度 *4
(H) クランク回転数 *4



＊1 ［DST］の表示中にアシストスイッチのAを長押しすると、走行情報が全てリセットできます。
＊2 表示される数値は参考値です。
＊3 下図の表示になります。この時ギア段数の表示はできません。

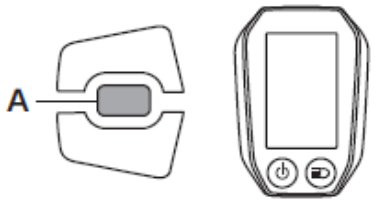


＊4 オプション項目：表示設定のカスタマイズが可能です。詳しくは購入された販売店にご相談ください。

走行距離のリセット

サイクルコンピューターの基本画面から、走行距離をリセットして0に戻すことができます。

1. アシストスイッチのAを押して、走行情報の表示を[DST]に切り替えます。



2. 次に[DST]の表示が点滅し始めるまでアシストスイッチのAを長押しします。

3. [DST]の表示が点滅している状態で再度アシストスイッチのAを押すと、走行距離がリセットされます。

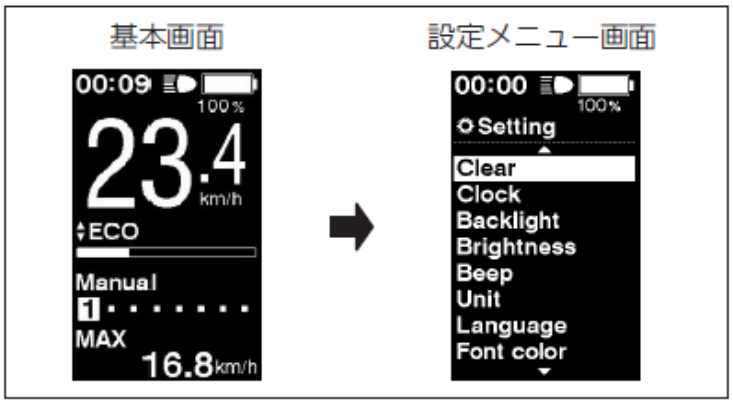
- [DST]の表示が点滅した状態で5秒間操作しないと、点滅が止まります。
- 走行距離をリセットすると、[AVG](走行時間)、[AVG](平均速度)、および[MAX](最大速度)の内容もリセットされます。

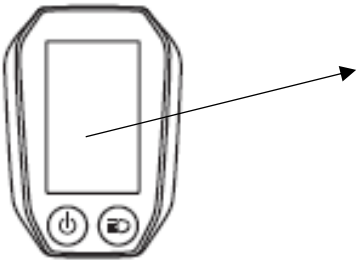
設定メニュー

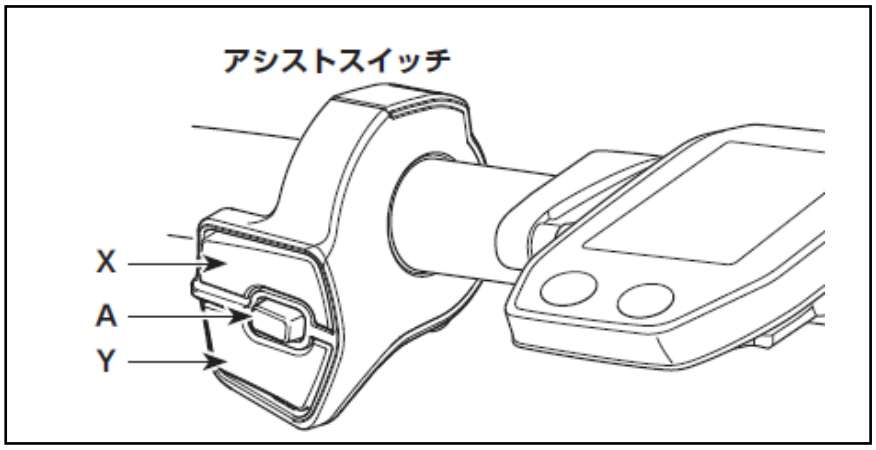
■ 設定メニューの起動

1. 停車状態で、サイクルコンピューターの表示が基本画面から設定メニュー画面が設定メニューに切り替わるまで、アシストスイッチのXとYを同時に押し続けます。

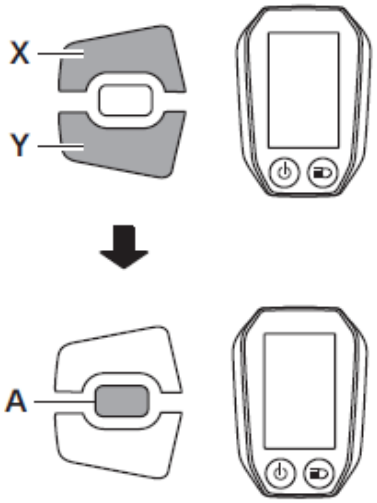
   設定メニュー画面に切り替わったら指をはなしてください。

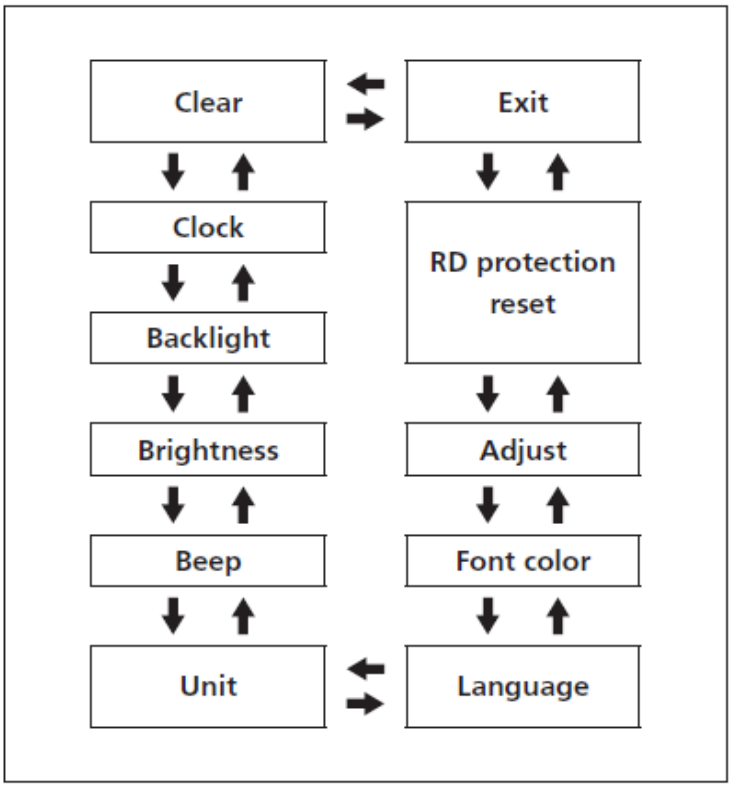






2. アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したい項目にカールを移動します。
Aを押すと選択した項目の設定画面を表示します





設定可能な項目	内　容
Clear	設定リセット
Clock	時計設定
Backlight	バックライト設定
Brightness	バックライト輝度設定
Beep	ビープ設定
Unit	Km/mile切り替え
Language	言語設定
Font color	フォントカラー設定
Adjust	電動変速ユニットの変速調整
RD protection reset	RDプロテクションリセットの実行
Exit	メイン画面に戻る

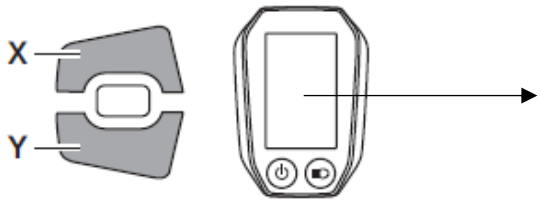
X　Y

[Adjust]　および[RDprotection reset]　は電動変速の場合のみ機能します。

■ Clear（設定リセット）

走行距離をリセットします。また、表示設定をデフォルト（初期状態）の状態にリセットします。

1. アシストスイッチのXまたはYを押して、リセットしたい項目を選択します。

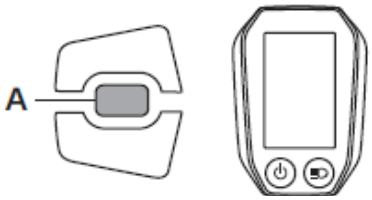


設定可能な項目	内　容
Exit	設定メニュー画面に戻ります。
DST	走行距離をリセットします。
Default	サイクルコンピューターの表示設定をデフォルトにリセットします。

［Default］ でリセットされる項目とデフォルト値は下記になります。

項目	デフォルト値
Backlight	ON
Beep	ON
Unit	Km
Language	English
Brightness	3
Font color	White

2. アシストスイッチのAを押すと、選択した項目が、リセットされます。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

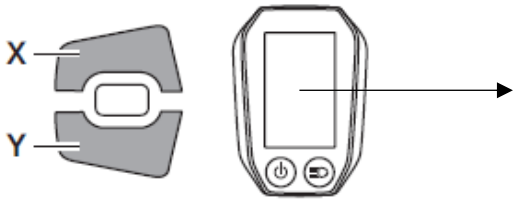


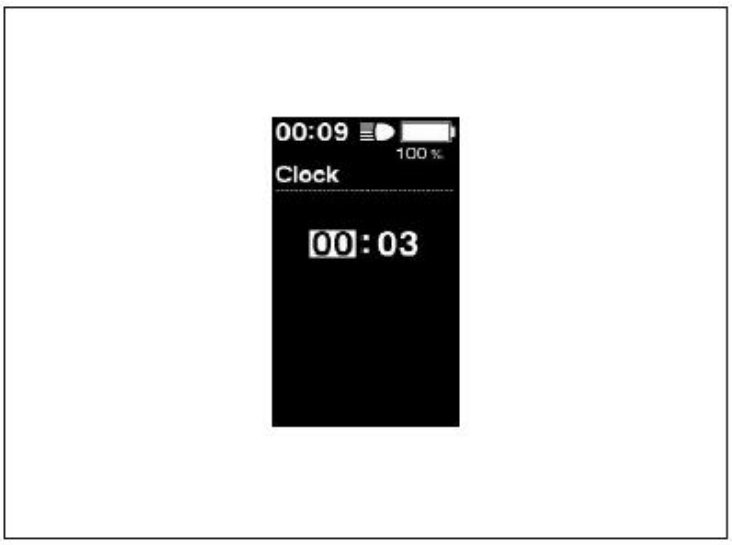
走行距離をリセットすると、**[TIME]**（走行距離）**[AGV]**(平均速度）、および**[MAX]**(最大速度）の内容もリセットされます。

■ Clock（時刻設定）

時刻の設定は、時→分の順で行います。

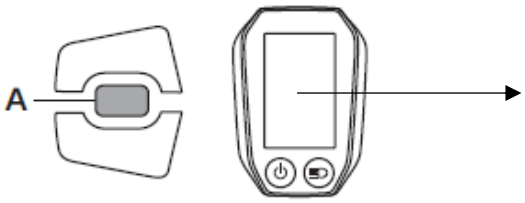
1. アシストスイッチのXまたはYを押して現在時を合わせます。

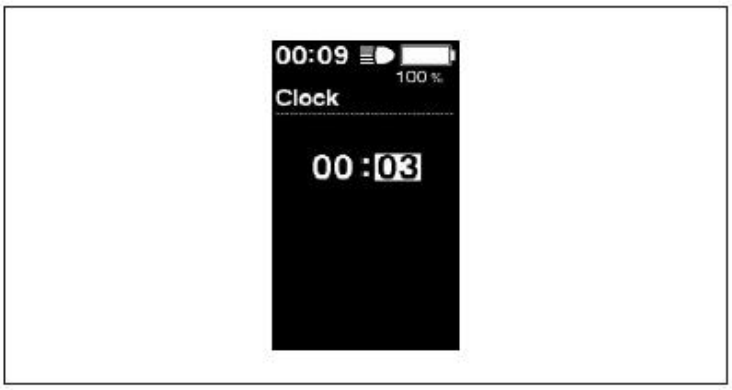




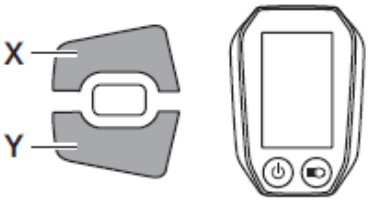
Xを押すと数字が大きくなります。
Yを押すと数字が小さくなります。

2. アシストスイッチのAを押すと、設定が有効となり、分の設定へ移動します。

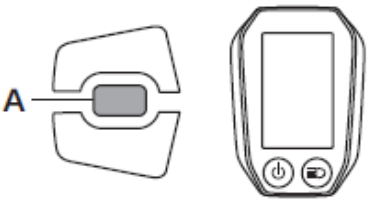




3. アシストスイッチのXまたはYを押して、分を合わせます。



4. アシストスイッチのAを押すと、設定が有効になります。

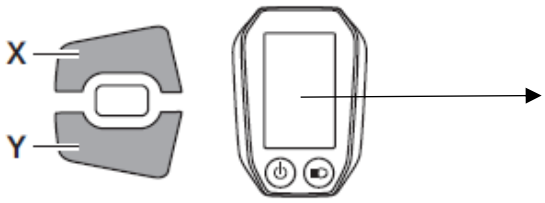


上記手順1や3で、XまたはYを長押しすると、すばやく数値を切り替えることができます。

■ Backlight（バックライト設定）

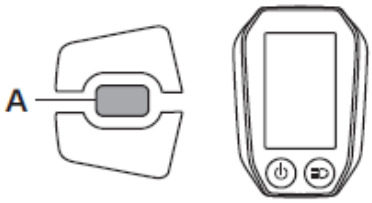
サイクルコンピューターの画面のバックライトを設定します。

1. アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したい項目を選択します。



設定可能な項目	内　容
ON	バックライトを常時点灯します。
OFF	バックライトを常時消灯します。
MANUAL	バッテリー駆動ライトの点灯 / 消灯と連動してバックライトを点灯 / 消灯させます。

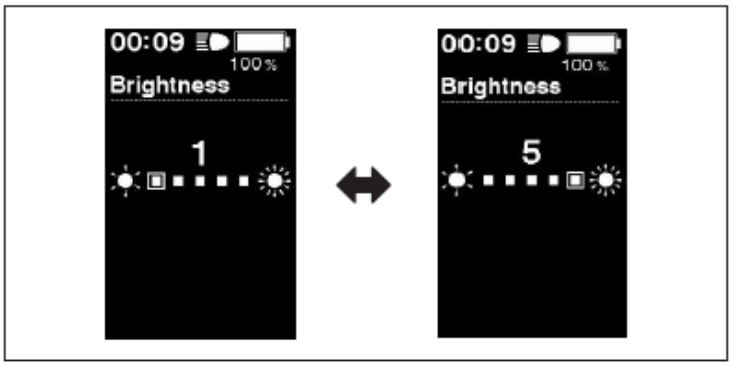
2. アシストスイッチのAを押すと、選択した項目が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



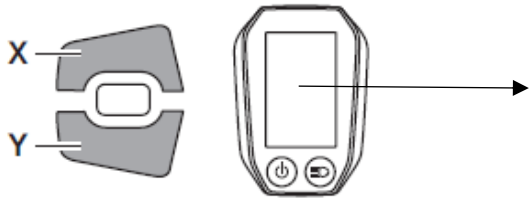
バッテリー駆動ライトを接続していない場合、[Backlight] を[MANUAL]に設定すると、サイクルコンピューターのライトボタンでバックライトの点灯/消灯のみを操作できます。

■ Brightness（バックライト輝度設定）

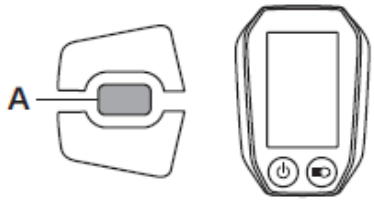
バックライトの輝度をお好みに合わせて設定できます。



1. アシストスイッチのXまたはYを押して、輝度を調整します。
● 輝度は5段階で調整できます。

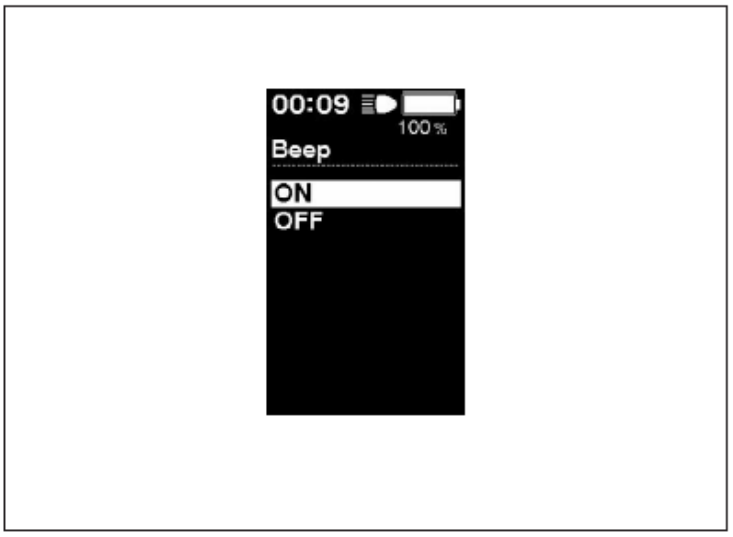


2. アシストスイッチのAを押すと、変更した輝度が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

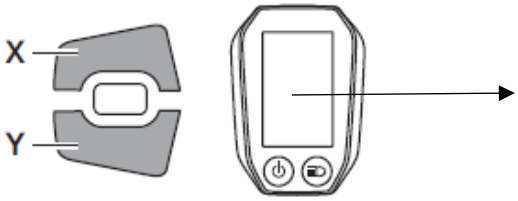


■ Beep（ビープ音設定）

ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

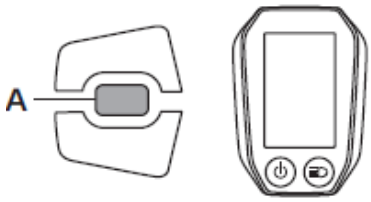


1. アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したい項目を選択します。



設定可能な項目	内　容
ON	ビープ音を鳴らします。
OFF	ビープ音を鳴らしません。

2. アシストスイッチのAを押すと、選択した項目が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

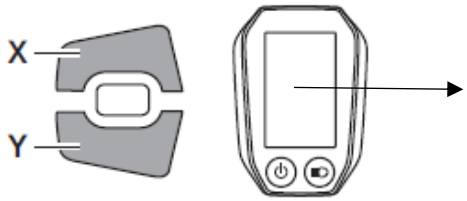


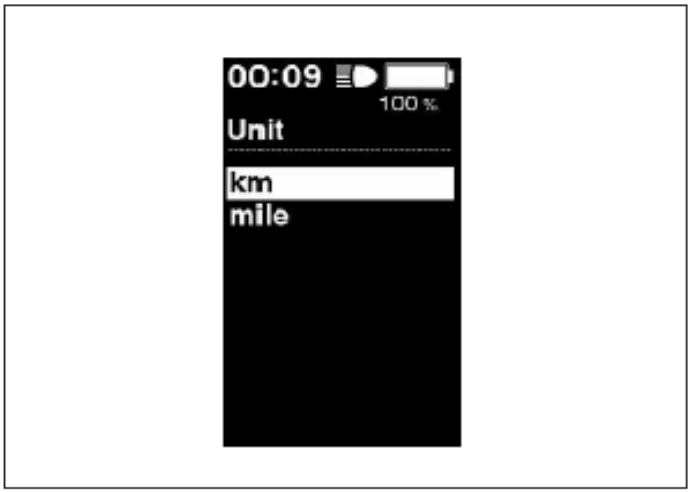
[Beep] が[OFF]に設定されている場合でも、誤作動やシステム異常などの場合はビープ音が鳴ります。

■ Unit (km / mile切り替え)

距離の単位を、Kmまたはmileから選択します。同時に速度の表示もKmまたはmileに切り替ります。

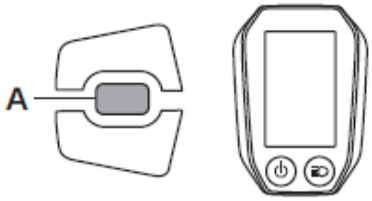
1. アシストスイッチのXまたはYを押して、
設定したい項目を選択します。





設定可能な項目	内　容
km	Km表示
mile	mile表示

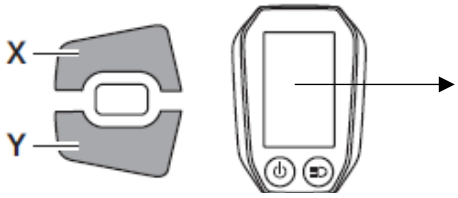
2. アシストスイッチのAを押すと、選択した
項目が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



■ Language（言語設定）

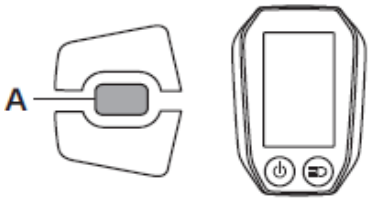
サイクルコンピューターの表示言語を設定します。

1. アシストスイッチのXまたはYを押して、
設定したい項目を選択します。



設定可能な項目	内容
English	英語
Français	フランス語
Deutsch	ドイツ語
Nederlands	オランダ語
Italiano	イタリア語
Español	スペイン語

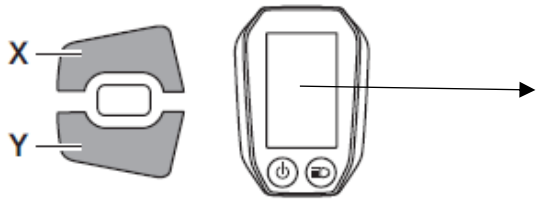
2. アシストスイッチのAを押すと、選択した項目が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



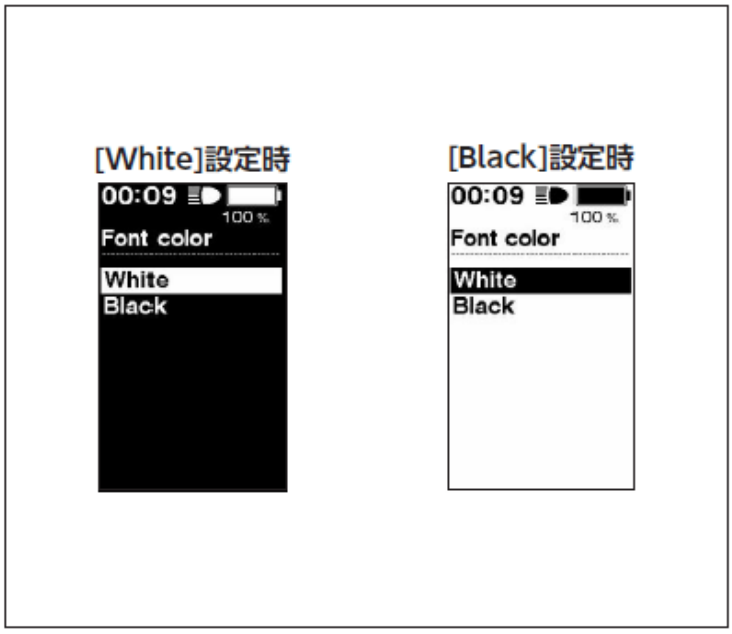
■ Font color（フォントカラー設定）

サイクルコンピューターの表示文字色を選択ます。

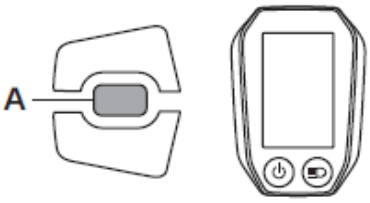
1. アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したい項目を選択します。



設定可能な項目	内容
White	黒背景に白文字で表示されます。
Black	白背景に黒文字で表示されます。



2. アシストスイッチのAを押すと、選択した項目が有効になります。
画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。



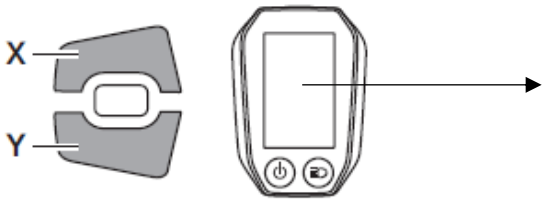
■ Adjust（電動変速ユニットの変速調整）

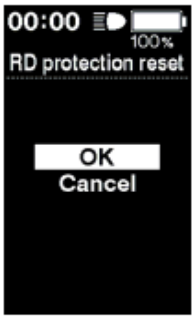
電動変速の場合、変速調整が可能です。
変速操作時に異音や違和感を感じる場合には、購入された販売店にご相談ください。

■ RD protection reset（RDプロテクションリセット）

転倒などからシステムを保護するため、リアディレーラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレーラーが正しく動作しなくなります。RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレーラーがRDプロテクションから復旧します。

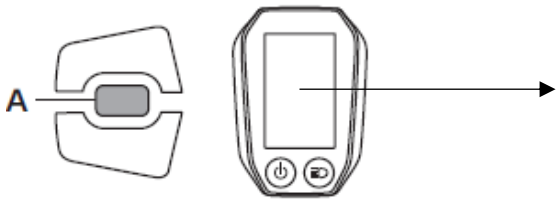
1. アシストスイッチのXまたはYを押して[OK]を選択します。





設定可能な項目	内容
OK	RDプロテクションリセットを実行します。
Cancel	RDプロテクションリセットを実行しない場合は、[Cancel]を選択します。

2. アシストスイッチのAを押してRDプロテクションリセットを実行します。
その後、クランクを回してモーターとリンク部の接続を回復させてください。



Exit（終了方法）

1. アシストスイッチのXまたはYを押して、設定メニュー画面から[Exit]を選択します。

2. アシストスイッチのAを押すと基本画面に戻ります。

ドライブユニット設定データのバックアップ機能

ドライブユニットに設定されているデータは通常自動的にバックアップされます。ただし、下記の場合はバックアップデータを更新するかどうか確認するメッセージが表示されます。
● 設定の異なる自転車にサイクルコンピューターを付け替えた場合。
● E－TUBE　PROJECTでドライブユニットの設定を変更した場合。

PCとの接続通信

■ アプリケーションのダウンロード

SHIMANO　STEPS　E8080シリーズの設定やファームウェアデートをおこなうには、E－TUBE　PROJECTが必要です。
サポートサイト（http;//e-tubeproject.shimano.com）にアクセスし、E－TUBE　PROJECTをダウンロードしてください。
E－TUBE　PROJECTのインストール方法はサポートサイトをご確認くださ。またPCの操作方法はE－TUBE PROJECTのヘルプマニュアルをご参照してください。

注　意
充電中はPCとの接続通信はできません。

● SHIMANO　STEPS　E8080シリーズをPCと接続するには、SM－PCE1/ SM－PCE02が必要です。
また、以下の場合にはSM－JC40/JC41が必要になります。
・電動変速を採用している場合など、サイクルコンピューターのE－TUBEポートに空きがない場合。
・SW－E6000/6010の単体をPCに接続する場合。
● ファームウェアは予告なく変更される場合があります。
必要がある場合は販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

■ バッテリーLEDのエラー表示

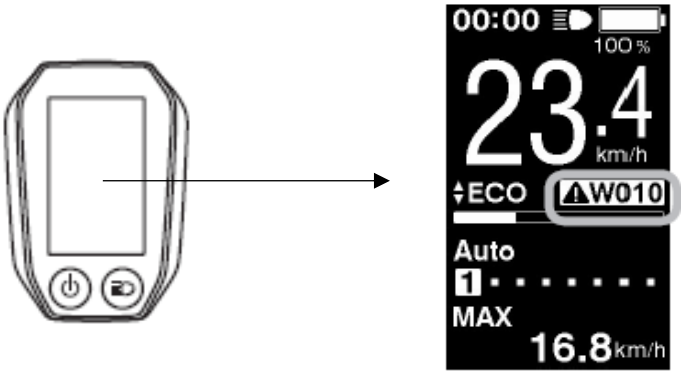
エラー表示種別	表示条件	点灯パターン *1	復帰方法
システムエラー	自転車システムとの通信異常		ケーブルが抜けていないか、配線が間違えていないかを確認して下さい。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
温度保護	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。		直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部温度が十分下がるまで放置してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
セキュリティ認証エラー	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。 ケーブルが一部断線している場合に表示されます。		正規のバッテリーとドライブユニットを接続させてください。 ケーブルの状態を確認してください。 状況が回復しない場合は、販売店に問い合わせてください。
充電エラー	充電中に異常があった場合に表示されます。		バッテリーと充電器の接続コネクターを取除き、バッテリー単体で、電源ボタンを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、販売店に問い合わせてください。
バッテリー故障	バッテリー内部の電気異常		一端、充電器に接続した後に取外し、バッテリー単体の状態で電源ボタンを押してください。 バッテリー単体でエラーが表示された場合は、販売店に問い合わせてください。

*1 ：無灯 ：点灯 ：点滅

■ サイクルコンピューターのエラーメッセージ

警告

エラーが解消すると消える表示です。



コード	発生状況	警告表示中の動作制限	対処方法
W010	ドライブユニットが通常動作時よりも高温になっています。	アシスト力が通常より低下します。	ドライブユニットの温度が低下するまで、アシスト走行を中止してください。 状況が回復しない場合は代理店へご相談ください
W011	走行速度が検出できていません。	アシスト上限速度が通常より低下します。	スピードセンサーが正しく取付けられているか確認してください。 状況が回復しない場合は代理店へご相談ください
W013	トルクセンサーの初期化が正常に完了しませんでした	アシスト力が通常より低下します。	ペダルに足をのせずにバッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は販売店へご相談ください
W032	システムの設定と異なる変速機が取付けられています。	変速ができません。	販売店へご相談ください。

エラー

画面全体にエラー表示が出た場合、下記のいずれかの方法で表示をリセットしてください。

リセットしてもエラーが解消されない、または現象が頻発する場合は販売店にご相談ください。

コード	発生状況	エラー表示中の動作制限	対処方法
E010	システムの異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直ししてください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。
E011	システム動作で異常が発生しました	アシスト走行ができません。	電源を入れ直してください。
E013	ドライブユニットのファームウェアに異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店へご相談ください。
E014	スピードセンサーの取付け位置が誤っている可能性があります。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店へご相談ください。
E020	バッテリーとドライブユニット間の通信異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	ドライブユニットとバッテリー間のエレクトリックワイヤーが正しく接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。
E021	ドライブユニットに接続されているバッテリーはシステム標準に準拠していますが非対応製品です。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。 状況が改善しない場合は、代理店へご相談ください。
E022	ドライブユニットに接続されているバッテリーがシステム標準に準拠していません。	すべてのシステム機能がシャットダウンします。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。 状況が回復しない場合は、販売店へご相談ください。
E033	現在のファームウェアーは本システムに対応していません。	アシスト走行ができません。	E-TUBE PROJECTを接続し、アシスト自転車の全ユニットのファームウェアを最新バージョンにアップデートしてください。
E043	サイクルコンピューターのファームウェアの一部が壊れている可能性があります。	アシスト走行ができません。	購入された販売店又は代理店へご相談ください。

■ こんなときは

アシスト機能

症状	原因 / 可能性	対策
アシストされない。	バッテリー残量は十分ですか？	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電してください。
	夏場の長い坂道や重い荷物を積載して長時間走行していませんか？ オーバーヒートの可能性があります。	電源をOFFにし、しばらく経ってからもう一度確認してください。
	ドライブユニット (DU-E8080)、サイクルコンピューター (SC-E6010)、アシストスイッチ (SW-E6010 / SW-E6000) のいずれかの接続が正しくない、あるいは故障している可能性があります。	販売店へご相談ください。
	スピードを出しすぎていませんか？	サイクルコンピューターの表示を確認してください。24 km/h以上ではアシストされません。
アシストされない。	ペダルをこいでいますか？	自動二輪車ではありませんので、ペダルをこいでください。
	アシストモードが「OFF」になっていませんか？	アシストモードを[HIGH]にしてください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	システムの電源はONになっていますか？	以下のことを実行してもアシスト感がない場合は、販売店へご相談ください。 サイクルコンピューターの電源ボタンを2秒間長押し、またはバッテリーの電源ボタンを押し電源をONにしてください。
アシスト走行距離が短い。	道路条件や変速位置、ライトの点灯時間により走行距離が短くなります。	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電してください。
	冬期はバッテリーの特性上性能が低下します。	異常ではありません。
	バッテリーは消耗品です。繰り返しの充電や長時間の使用でバッテリーは劣化 (性能低下) します。	1回の充電で走行できる距離が著しく短い場合は新しいバッテリーに交換してください。
ペダルが重い。	タイヤの空気圧は十分ですか？	ポンプで空気を入れてください。
	アシストモードがOFFになっていませんか？	アシストモードを「HIGH」にしてください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	バッテリー残量が少ない可能性があります。	十分に充電した後に再度アシスト力を確認してください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。
	ペダルに足を乗せた状態で電源をいれませんでしたか？	ペダルに負荷をかけずに電源を入れ直してください。それでもアシスト感がない場合、販売店へご相談ください。

バッテリー

症状	原因 / 可能性	対策
バッテリー残量表示ランプが5つすべて点灯したままになっている。	自転車に装着した状態ではバッテリー残量を表示しません。充電時に表示します。	故障ではありません。
バッテリー残量がすぐになくなる。	バッテリーの寿命の可能性があります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
充電できない。	充電器の電源プラグは確実に接続されていますか？	充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電できない場合は販売店にご相談ください。
	充電器の充電プラグはバッテリーに確実に差し込んでありますか？	充電器の充電プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電できない場合は販売店にご相談ください。
	充電アダプターと充電プラグまたは充電アダプターとバッテリーの充電器コネクターが確実に接続されていますか？	充電アダプターと充電プラグまたは充電アダプターとバッテリーの充電コネクターを確実に接続し、再度充電してください。それでも充電できない場合は販売店にご相談ください。
	充電器、充電アダプター、バッテリーそれぞれの接続端子が汚れていませんか？	接続端子を乾拭きし、汚れを落としてから再度充電してください。 それでも充電できない場合は販売店にご相談ください。
充電器を接続しても充電中の状態にならない。	バッテリーの寿命の可能性があります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
バッテリーや充電器が熱くなる。	バッテリーや充電器の温度が、使用温度範囲を超えている可能性があります。	充電を中止し、しばらく経ってからもう一度充電してください。手が触れられないほど熱い場合は異常です。販売店へご相談ください。
充電器が熱い。	連続で数個のバッテリーを充電すると充電器は熱くなる場合があります。	しばらく待ってから充電してください。
充電器のLEDが点灯しない。	充電器の充電プラグはバッテリーに確実に差し込んでありますか？	接続部に異物が付着していないかを確認して、充電コネクターを差し込みなおしてください。変化がない場合は販売店にご相談ください。
	バッテリー残量は満充電されていますか？	バッテリーが満充電された場合、充電器のLEDは消灯しますが異常ではありません。充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電器のLEDが点灯しない場合は販売店にご相談ください。

症状	原因 / 可能性	対策
バッテリーが抜けなくなった。		販売店へご相談ください。
バッテリーが差し込めない。		販売店へご相談ください。
バッテリーから液体が出てきた。		販売店へご相談ください。
異臭がする。		ただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。
煙が出た。		ただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。

ライト

症状	原因 / 可能性	対策
フロントライトまたはテールライトがスイッチを押しても点灯しない。	E-TUBE PROJECTの設定が正しくない可能性があります。	販売店へご相談ください。

サイクルコンピューター

症状	原因 / 可能性	対策
バッテリーの電源ボタンを押してもサイクルコンピューターの画面が点灯しない。	バッテリー残量が不足している可能性があります。	バッテリーを充電してから、再度電源をONにしてください。
	電源はONになっていますか？	電源ボタンを長押しし、電源をONにしてください。
	充電中ではありませんか？	自転車にバッテリーを取付けた状態で充電中は、電源をONにできません。充電を中止してください。
	サイクルコンピューターはブラケットに正しく取付けられていますか？	「サイクルコンピューターの取付けと取外し」をご参照の上、正しく取付けてください。
	エレクトリックワイヤーのコネクターは正しく取付けられていますか？	モーターユニットとドライブユニットをつないでいるエレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。わからない方は販売店へご相談ください。
	システムが認識できない製品を接続している可能性があります。	販売店にご相談ください。
サイクルコンピューターの電源ボタンを2秒間長押ししても起動しない。	低温下でサイクルコンピューターを使用または放置し続けていませんか？	低温下でサイクルコンピューターを使用または放置し続けるとサイクルコンピューター側から電源をONにできない場合があります。バッテリーの電源ボタンを押して起動させてください。それでも電源がONにならない場合は販売点へご相談ください。
	サイクルコンピューターはブラケットに正しく取付けられていますか？	「サイクルコンピューターの取付けと取外し」をご参照の上、正しく取付けてください。

症状	原因 / 可能性	対策
ギア段数が表示されない。	ギア段数は電動変速ユニットが装着されている場合のみ表示されます。	エレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。わからない方は販売店へご相談ください。
ビープ音を消したい。		設定を変更してください。 「Beep (ビープ音設定)」参照。
バックライトを消したい。		設定を変更してください。 「Backlight (バックライト設定)」参照。
走行中に設定メニューが起動できない。	走行状態を認識すると設定メニューが起動できない仕様です。異常ではありません。	停車して設定をおこなってください。

その他

症状	原因 / 可能性	対策
スイッチを押したときに「ピッピッ」と音が2回鳴りスイッチの操作ができない。	押したスイッチの操作は禁止されています。	故障ではありません。
音が「ピッピッピッ」と3回鳴る。	エラーまたは警告が発生しています。	サイクルコンピューターに警告またはエラーが表示されています。「サイクルコンピューターのエラーメッセージ」の項を参照して、該当コードの記載に従ってください。
電動変速モデル使用時、変速の際にアシスト力が弱くなる気がする。	コンピューター制御により、アシスト力を最適な状態に調整しているためです。	故障ではありません。
変速後に異音がする。		販売店へご相談ください。
通常走行時に後輪から音鳴りがする。	変速調整が正確ではない可能性があります。	**機械式変速の場合** ケーブルの張りを調整してください。詳しくは変速機の取扱説明書をご覧ください。 **電動変速の場合** 販売店へご相談ください。

仕様　電動アシスト自転車（JE－279E）

品名		内容	
寸法	全　長	1870mm	
	全　幅	655mm	
	サドル地上高さ	約875mm～1005mm	
	リムサイズ	14G×32H、27．5	ALEX / FR30
	タイヤサイズ	27．5×22	MAXXIS
	チューブサイズ	27．5×2．20 / 2．50　A / V	
総車両重量（バッテリーを含む）		約　20．9　kg	
フレーム		変形ダイヤモンド形　460mm	ALLOY6010
フロントホーク		サスペンションホーク（SF19-XCR32-BOOST）	SR－SUNTOUR
ハンドル		ランダーバー形　640mm	Tranz X
ブレーキ	前	油圧式ディスクブレーキ（Hydraulic　Disk）	SHIMANO　BR－M6000
	後	油圧式ディスクブレーキ（Hydraulic　Disk）	SHIMANO　BR－M6000
ギアクランク		34T×170mm　SM－CRE80 / FC－E8000	SHIMANO
フリーホイール		CS－HG200－9段	SHIMANO
ハ　ブ	前	HB－MT400－B	SHIMANO
	後	FH－MT400－B	SHIMANO
チェーン		CN－E6070－9	SHIMANO
ペダル		VP－501	VP　COMPONENTS
にぎり		VLG－1266AD2－L2	VELO
サドル		VL－1489	VELO
スポーク		14G×271mm×273mm	
適応身長		165cm　以上	

バッテリー	BT－E8014（日本仕様）　外付けタイプ
充電器	EC－E6002（日本仕様）

キーナンバー

キーについているナンバーはスペアキーを購入する際に必要です。
下記の欄にご記入いただき、大切に保管してください。

キーナンバー

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961　Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

輸入元

GSジャパン株式会社

〒559－0023大阪市住之江区泉2丁目1番88号
TEL(06)6686－0995　FAX(06)6686－5220
http://www.gsglobal.co.jp/bike